

札幌市の障がい者施策に対する陳情

令和5年8月24日 受理
令和5年8月28日 付託 厚生委員会

提出者
札幌市白石区
萬谷 竜太

(要旨)

札幌市を障がいのある方が日本のみならず世界で最も住みやすい街にするために、以下2点を要望します。

- 1 障がい者に対する相談支援を充実させてください。
- 2 障がい者の雇用を充実させてください。

(理由)

1 障がい者に対する相談支援について

札幌市の障がい者支援は、委託事業ばかりで質が非常に低く、市の直轄事業・専門の職員でやるべきと考えます。

札幌市障がい者元気スキルアップ事業(キャリアバンク株式会社)は、紹介や連絡は一切なく、この件は、札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課にも2回ほど苦情を入れたことがあるが改善されたことはありません。

札幌市障がい者就業・生活相談支援事業所である「就業・生活相談室しんさっぽろ」「就業・生活相談室テラス」では予約がいっぱいで困った時、すぐに相談できない、的を得た回答がない等のことがあり、「就業・生活相談室テラス」では、あなたに対してできることはないと言われ登録を拒否されたことがあります。この件についても苦情を入れたことがあるが改善されたことはありません。

一度利用者に対して満足度調査を行い、改善を行うべきではないかと考えます。

また、精神障害者保健福祉手帳の注意事項欄に「1.医療や生活のことで相談したいときは、区の保健福祉部、精神保健福祉センターなどにご相談ください。」と記載があるため、白石区の保健福祉部に相談したところ「支援できるノウハウがない。」と言われ、他の相談窓口を紹介されました。手帳に記載があるにもかかわらず、窓口には立っている職員が対応できないということに疑問を感じます。

2 障がい者雇用について

ハローワーク(札幌東公共職業安定所)の求人は、障害年金ありきの非正規雇用(パート・アルバイト)や障害者総合支援法における就労系障害福祉サービスである就労継続支援事業のA型事業所やB型事業所ばかりで、質の高い正規雇用(正社員)がほぼないに等しいと考えます。

ハローワークの方からは、実際には条件を付けて、身体障がい者の方等しか採用

していないという話も聞いたことがあり、ハローワークも積極的な支援をしてくれないと感じます。

また、札幌市職員の障がいのある方を対象とした選考は、北海道職員・他市町村と比べ、年齢制限が厳しい、採用人数が少ない、実際には、身体障がい者しか採用していないと感じます。

札幌オリンピック・パラリンピックの「大会を通じて目指す未来のまちの姿 紹介パンフレット」には、障がいのある方が暮らしやすいと考える割合が記載されていますが、たった 29.6%しかいません。

最新の「令和 4 年度 アクションプラン 2019 成果指標状況一覧」(札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2019)によると、更に低下し、たった 27.2%しかいません。逆に言えば、72.8%の方が暮らしにくいと思っているということです。

令和 4 年度までに目標値として、60%を目指したいようですが、現実的に可能かどうか疑問を感じます。私は、目標値が 60%でも低いと思います。

札幌でオリンピック・パラリンピックをやる前に他にやるべきことがたくさんあると考えます。

以下のお願いは、障がいの有無に関わらずですが、札幌市が日本のみならず、世界で共生社会が最も進んだ街を実現するために、要望致します。

- ・障がいのある方が質の高い正規雇用(正社員)・安定した雇用で働くことができ、困った時はすぐに相談できて、的を得た回答を得れるようにして欲しい。
- ・障がいのある方の結婚を支援して欲しい。
- ・障害者手帳のカード化を行なって欲しい。

※従来の手帳型を希望する方には、並行して発行して欲しい。

・実際の障害当事者の意見を幅広く聞くための議会のような形の物の設置を行い、積極的に市政に反映して欲しい。

以上、よろしくお願い致します。